

地域経済分析システム (RESAS) について

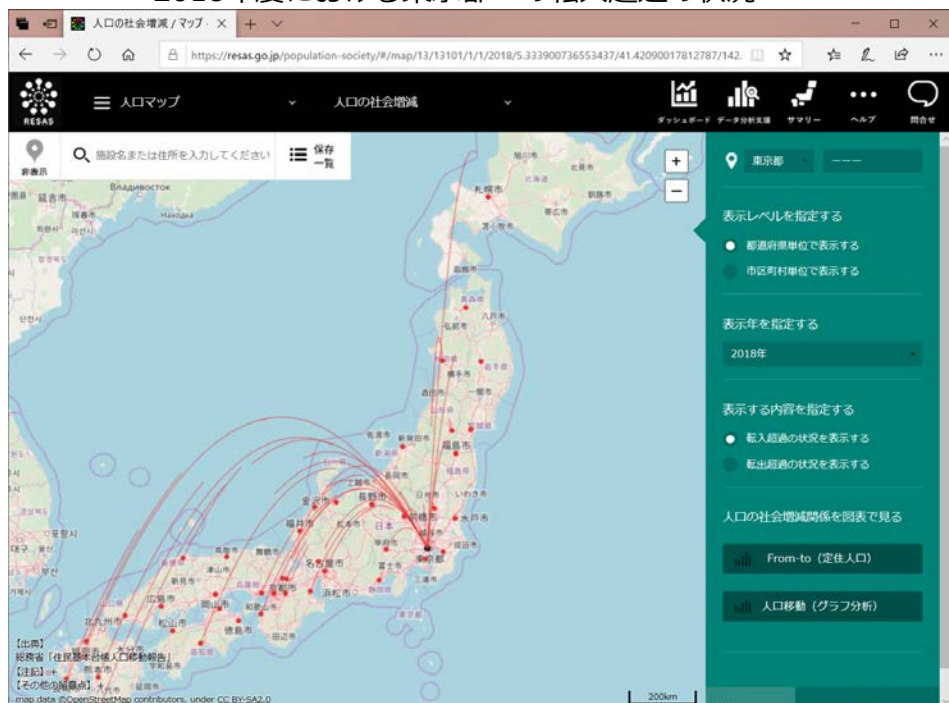
～Regional Economy Society Analyzing System～

- 地域経済に関する官民の様々なデータを、地図やグラフ等で分かりやすく「見える化」することで、各地域が自らの強み・弱みや課題を分析し、解決策を検討することを後押しする。
- 教育現場でも、**探求学習等に活用**。課題解決型学習として、地域の姿や課題を理解し、どうすれば解決できるか、自分が地域とどのように関わっていけるかを考える機会にできる。
- 課題解決に不可欠な**データリテラシー**（情報活用能力）の養成にも資する。

RESASの画面一例

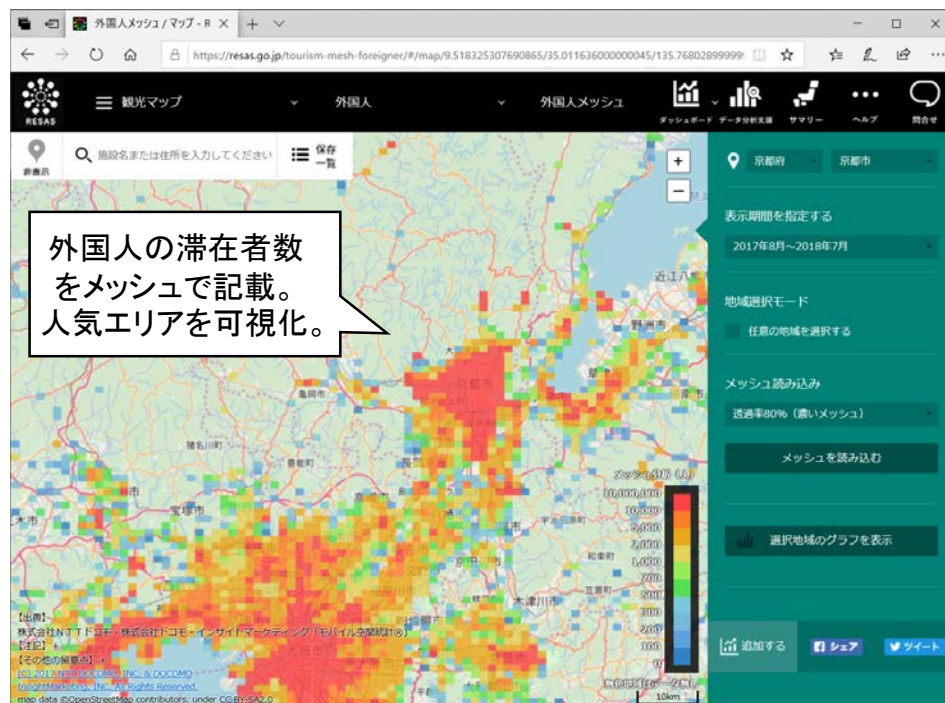
人口マップ／人口の社会増減

2018年度における東京都への転入超過の状況



②外国人メッシュ

京都／大阪周辺の外国人観光客の訪問者数



教育目的での活用

中学・高校・大学等でもRESASの活用が拡大中。新指導要領解説（※）にも明記。

（※）『中学校学習指導要領解説 社会編』（要領自体は、平成29年3月告示、令和3年度より全面实施）

『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』（要領自体は、平成30年3月告示、令和4年度より全面实施）

<地方創生☆政策アイデアコンテスト>

- RESASを活用して地域の状況を分析し、地域を元気にするアイデアを広く募集するコンテスト。
- 本年の**高校生・中学生以下の部**では、全国から274件の応募あり。

【2018年 高校生・中学生以下の部 地方創生担当大臣賞（最優秀賞）】

ハロウィンかぼちゃで交流振興・生産振興～角島大橋ハロかぼランタンライトアップ大作戦～
（山口県立豊北・下関北高等学校、分析対象地域：山口県下関市）

昨年のアイデアコンテストの様子



<教育現場における実践事例集>

- 2019年度末にRESASホームページで教育現場における**実践事例や略案**を公開すべく、準備中。
- 総合探究・地理・国語表現・商業高校向け等、9案を予定。

<活用事例：長野県>

- 長野県の県立高校では「**総合的な学習の時間**」で、同県の歴史・文化・産業等を学ぶ「**信州学**」を実践。
- 先行事例となった^{まつもとあがたがおか}松本県ヶ丘高等学校では、「信州学」の一環としてRESASを活用。1年生（普通科・英語科）全8クラス320名で実施。校内発表会、コンテストへの応募（下記参照）、県議会議員と生徒の懇談会も実施。

【2016年 高校生・中学生以下の部 地方創生担当大臣賞（最優秀賞）】

長野県の負のスパイラル大問題！！『昆虫食』で解決します！
（長野県立松本県ヶ丘高等学校、分析地域：長野県）



松本県ヶ丘高校の授業の様子